

3 級商業簿記		講義	教授 安藤 鋭也	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 専門選択科目 経営・経済コースの専門 選択科目	科目ナンバリング	23022101	

1. 授業のねらい・概要

簿記は、数多くの複雑な企業取引を、数少ない取引要素で分類・整理し、総合的な経営情報として提供してくれる有用なシステムです。企業は利益の極大化を目指していますが、その利益額は簿記によって確定されます。したがって今後皆さんが社会に出て活躍されるにあたって、簿記の知識は不可欠です。

そのような簿記を学修するには、実際に多くの取引について仕訳の問題を解き、練習問題にふれることが必要です。そこでこの授業では、そのスタート・ラインである日商簿記検定試験 3 級試験を視野に入れつつ、簿記(や会計)を好きになってもらえるような授業を行います。

2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った講義形式を基本とします。同時に、新聞・雑誌などから具体的な事象を取り上げて説明します。いずれにおいても、皆さんの積極的な参加を心から歓迎します。

3. 授業計画

1. 第 1 章 簿記の意義としくみ	9. 第 10 章 有形固定資産
2. 第 2 章 仕訳と転記、第 3 章 仕訳帳と元帳	10. 第 11 章 貸倒損失と貸倒引当金
3. 第 4 章 決算	11. 第 12 章 資本
4. 第 5 章 現金と預金	12. 第 13 章 収益と費用
5. 第 6 章 繰越商品・仕入・売上	13. 第 14 章 税金
6. 第 7 章 売掛金と買掛金	14. 第 15 章 伝票
7. 第 8 章 その他の債権と債務	15. 第 16 章 財務諸表
8. 第 9 章 受取手形と支払手形	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回テキストの該当箇所を事前に読んできて下さい(30 分程度)。復習は該当箇所の例題および練習問題を自分で解いてみましょう(1 時間程度)。もし不明な箇所や疑問点があれば、次回の授業で遠慮なく質問して下さい。一緒に解決しましょう。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際は、解答のポイントや出題意図を(試験)終了直後に説明します。

6. 授業における学修の到達目標

簿記の基本的な仕組みを理解し、自分のものにした上で、日本商工会議所と各地の商工会議所が主催する日商簿記検定試験 3 級に合格できるレベルに到達することが目標です。

7. 成績評価の方法・基準

平常点 50%(授業への取組み姿勢)およびレポート結果 50%の割合で成績評価を行います。

8. テキスト・参考文献

テキストは、渡部裕恒/片山覚/北村敬子[編著](2020)『検定 簿記講義 3 級商業簿記』中央経済社を使用します。本テキストは改訂される可能性があります。授業では最新版を使用します。参考文献は適宜紹介します。

9. 受講上の留意事項

受講にあたって、簿記や会計の知識は問いません。ただ授業は積み上げなので、毎回出席されることをお勧めします。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本授業は、商社(経理部門)における実務経験も活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおりです。